

令和 8（2026）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 科目等履修生高度プログラム  
トランスカルチャーの技法  
出 願 要 項

○本プログラムの概要

相互に異なる文化の間でのコミュニケーションにおいて起こるさまざまな課題について深く理解し、解決に向けての道筋を描くため、多様な分野のプロフェッショナルに求められているスキルの一つに、ドナルド・A・ショーンが提起した省察的実践（reflective practice）があります。ショーンによれば、省察的実践は、行為の後の単純な「振り返り」というだけではなく、行為のなかの省察（reflection in action）にこそその強調点があります。しかし、行為のなかの省察は、実践者が実践を通して、自らの暗黙知に基づく、直感的な理解を補強しがちであるため、簡単には達成されません。こうした省察をめぐる壁を克服するための技法の一つに、エスノグラフィーの技法があります。エスノグラフィーの技法は、世界各地域の多様な文化を記述するという従来の民族誌的な方法から適用範囲を大幅に拡大し、さまざまな省察的実践者の養成プログラムに応用されるようになりつつあります。

このプログラムでは、多文化共生の在り方が模索される様々な場面での活動に従事している人や、医療・福祉や教育、ジャーナリズムなどの領域で文化や立場、視点の相違を越えたコミュニケーションのあり方を模索している人を主な対象とし、エスノグラフィー、およびフィールドワークの技法を用いた望ましい多文化共生のあり方をグローバル／ローカルなさまざまな場面に応用する方法を学んでいきます。

なお、本プログラムは、学校教育法第 105 条に定められた履修証明制度に基づくプログラムに該当するため、本プログラムを受講し、本プログラムで定める所定の単位を修得したときは、大阪大学総長から修了認定証（履修証明書）が授与されます。

プログラム実施責任者 宮原 暁（人文学研究科外国学専攻教授）

## 1 出願資格

- (1) 日本の大学又は専門職大学を卒業した者
  - (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
  - (3) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和 8（2026）年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの（注）
- （注）① （3）に掲げる出願資格により出願する者は、あらかじめ出願資格の認定を受ける必要がありますので、4 出願手続の(1)の①及び②に掲げる書類を令和 7（2025）年 12 月 19 日（金）までに、箕面事務部学務係へ提出してください。
- ② 出願資格審査の結果は、令和 8（2026）年 1 月上旬に通知します。
- ③ 出願資格が認められた場合は、4 の(2)に掲げる受付期間内に、その他の出願書類等（4 の(1)の③から⑤までに掲げる書類等）を提出してください。

## 2 入学の時期及び在学期間

入学の時期は原則として学年の始めとし、本プログラムの履修期間は原則として 2 年とします。また、在学期間は 2 年以内において履修する授業科目所定の授業期間とします。

2 年以内に本プログラムを修了することができなかった場合は、改めて本プログラ

ムに出願する必要があります。

### 3 本プログラム修了要件及び構成科目

本プログラムの修了要件及び構成科目は別紙のとおりです。

## 4 出願手続

### (1) 出願書類等

- ① 入学願書（本研究科所定様式・写真添付）
- ② 最終学校の卒業又は修了（見込）証明書及び成績証明書
- ③ 修得した外国語について、その能力を証する書類（例えば TOEFL のスコア等）がある場合は添付してください（任意）。
- ④ 事務連絡用封筒（長形 3 号（120mm×235mm）封筒に宛先明記の上、110円分の切手を貼付のこと。簡易書留による発送を希望する場合は、460円分の郵便切手を貼付）
- ⑤ 可否通知用封筒（角形 2 号（240mm×332mm）封筒に宛先明記の上、790円分（速達簡易書留分）の切手を貼付のこと。）

### ⑥ 検定料及び振込方法

ア 検 定 料 9,800円

イ 振込期間 令和 8（2026）年 2 月 9 日（月）～ 2 月 13 日（金）

ウ 振込方法 本研究科所定の振込依頼書の※欄に、志願者本人の住所・氏名・電話番号を記入の上、最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）の窓口で、アの検定料を振り込んでください。（ATM 不可。必ず金融機関の窓口で振り込んでください。）

エ 振込手数料は、志願者の負担とします。

オ 検定料納入証明書を入学願書に貼付して提出してください。

(2) 受付期間：令和 8（2026）年 2 月 9 日（月）～ 2 月 13 日（金） 17時まで（必着）

(3) 出願方法：(1)に掲げる出願書類等を必ず受付期間内に箕面事務部学務係に到着するように郵送してください。なお、郵送する封筒に「科目等履修生入学願書在中」と朱書きし、書留郵便で郵送してください。

## 5 選考方法

書類審査により行います。

## 6 合格者の発表及び入学手続

可否は、3月上旬頃に郵送により直接本人に通知します。

また、入学手続に関しては、その際に通知します。

## 7 入学料及び授業料の額（下記の金額は予定であり、今後変更することがあります。）

(1) 入学料 28,200円

(2) 授業料 1 単位当たり 14,400円（令和 8（2026）年度予定額）

## 8 注意事項

- (1) 入学願書には、履修を希望するすべての授業科目（春～夏学期・秋～冬学期開講分）を記入してください。
- (2) 出願手続後は、出願事項の変更は認めません。
- (3) 授業時間割等は、変更されることがあります。
- (4) 履修を許可された授業科目の変更及び取消等は認めません。

(5) 納入された検定料は、下記の場合を除き返付しません。

① 次の場合は、検定料を返付します。

ア 出願したが出願資格がなかった場合

イ 出願書類受付期限後に出願書類が本研究科に到着した場合

ウ 出願書類に不備があり受理されなかった場合

② 次の場合は、検定料の返付請求を行ってください。

ア 検定料を振り込んだが、本研究科に出願しなかった場合

イ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

返付請求の方法

(ア) 返付請求の理由、(イ) 氏名 (フリガナ)、(ウ) 現住所、(エ) 連絡先の電話番号を明記した検定料返付請求書 (様式は問いません。) を作成し、速やかに下記【問い合わせ先】に記載の住所宛てに郵送してください。

(6) その他不明な点については、箕面事務部学務係へ問い合わせてください。

【問い合わせ先】

大阪大学人文学研究科箕面事務部学務係

〒562-8678 箕面市船場東3丁目5番10号

E-mail: jinbun-minoh-gakumu@office.osaka-u.ac.jp

## 令和8年度 大阪大学大学院科目等履修生高度プログラム プログラム詳細

プログラム名	和文	トランスカルチャーの技法		
	英文	Transculture Studies		
提案（幹事）部局	部局名	人文学研究科		
	実施責任者	所属	人文学研究科	
		役職	教授	
		氏名	宮原 暁	
		e-mail	miyabara.gyo.hmt@osaka-u.ac.jp	
連携部局	国際機構			
履修対象者	社会人		履修期間	2 年
修了要件	修了要件単位数		修了要件（単位数以外の修了要件がある場合）	
	10	単位以上		
趣旨・概要	<p>相互に異なる文化の間でのコミュニケーションにおいて起こるさまざまな課題について深く理解し、解決に向けての道筋を描くため、多様な分野のプロフェッショナルに求められているスキルの一つに、ドナルド・A・ショーンが提起した省察的実践（reflective practice）があります。ショーンによれば、省察的実践は、行為の後の単純な「振り返り」というだけではなく、行為のなかの省察（reflection in action）にこそその強調点があります。しかし、行為のなかの省察は、実践者が実践を通して、自らの暗黙知に基づく、直感的な理解を補強しがちであるため、簡単には達成されません。こうした省察をめぐる壁を克服するための技法の一つに、エスノグラフィーの技法があります。エスノグラフィーの技法は、世界各地域の多様な文化を記述するという従来の民族誌的な方法から適用範囲を大幅に拡大し、さまざまな省察的実践者の養成プログラムに応用されるようになりつつあります。</p> <p>このプログラムでは、多文化共生の在り方が模索される様々な場面での活動に従事している人や、医療・福祉や教育、ジャーナリズムなどの領域で文化や立場、視点の相違を越えたコミュニケーションのあり方を模索している人を主な対象とし、エスノグラフィー、およびフィールドワークの技法を用いた望ましい多文化共生のあり方をグローバル／ローカルなさまざまな場面に応用する方法を学んでいきます。</p>			
到達目標 （修了時に身につく能力）	フィールドワークやエスノグラフィーの技法を習得し、実務家、実践者として、文化や立場、視点の相違を越えたコミュニケーションのあり方を学ぶ。			
カリキュラムの構成	本プログラムは、(1)トランスカルチャーと協働の技法のベースとなるフィールドワークやエスノグラフィーの技法を学ぶ必修科目（4単位）と(2)フィールドワークやエスノグラフィーの技法について実践的に深く学ぶ選択必修科目（4単位）、(3)学生諸個人の目標に応じて履修する選択科目（2単位）で構成されます。			
履修資格・条件	多文化共生の在り方が模索される様々な場面での活動に従事している人や、医療・福祉や教育、ジャーナリズムなどの領域で文化や立場、視点の相違を越えたコミュニケーションのあり方を模索している人。			
前提知識の目安	前提知識の目安は特にありません。			

## 構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講年度 （毎年/隔年）	開講学期	年間 時間数	開講部局	課程	備考
		必修	選必	選択						
88A014	フィールドワークの技法	2			毎年	春～夏学期	30	国際機構	修士・博士	
88A015	エスノグラフィーを学ぶ	2			毎年	秋～冬学期	30	国際機構	修士・博士	
454245	アジア言語社会構造論IVA		2		毎年	春～夏学期	30	人文学研究科	修士	
455072	アジア・アフリカ言語社会論特別研究A		2		毎年	春～夏学期	30	人文学研究科	博士	
454246	アジア言語社会構造論IVB		2		毎年	秋～冬学期	30	人文学研究科	修士	
455078	アジア・アフリカ言語社会論特別研究B		2		毎年	秋～冬学期	30	人文学研究科	博士	
88A024	文化を書くⅠ		2		毎年	春～夏学期	30	国際機構	修士・博士	
88A025	文化を書くⅡ		2		毎年	秋～冬学期	30	国際機構	修士・博士	
454452	通訳翻訳学特講A			2	毎年	春～夏学期	30	人文学研究科	修士・博士	
454453	通訳翻訳学特講B			2	毎年	秋～冬学期	30	人文学研究科	修士・博士	
88A023	医療人類学を学ぶ			2	毎年	春～夏学期	30	国際機構	修士・博士	
454455	グローバル共生実践演習			2	毎年	春～夏学期	30	人文学研究科	修士・博士	
454454	多言語共生社会演習			2	毎年	秋～冬学期	30	人文学研究科	修士・博士	

※科目に関するお問い合わせについては実施責任者にご連絡ください。

※授業は教員の都合・諸事情等により不開講となる可能性があります。